

本の万華鏡「大豆 — 粒よりマメ知識 —」を公開しました

国立国会図書館のミニ電子展示「本の万華鏡」では、本日から第21回「大豆 — 粒よりマメ知識 —」をホームページで公開しました。

マメの中でも大豆は、『古事記』や『日本書紀』に登場するほど古くから日本の食文化に溶け込んでいます。節分の豆まきにも欠かせません。

「本の万華鏡」では伝統行事である節分、大豆の食文化に関する小話、日本から世界へ広まっていった大豆など、大豆に関わる粒よりなマメ知識を、様々な文献を通してご紹介します。

●掲載資料の一部（下記の URL から詳細な画像、資料の中身をご覧くださいませ）



気弱で滑稽なキャラクターとして親しまれた妖怪「豆腐小僧」。(出典：『天怪着到牒』<請求記号: 208-500>)



心優しい鬼が、情のない女に豆を投げつけられている様子を描いた、阪巻耕漁の能楽図絵。「節分」は狂言の演目にもなっている。(出典：『風俗画報』442 <請求記号: 雑 23-8>)



江戸時代の納豆売りの絵。
(出典：蒔絵師源三郎ほか画『人倫訓蒙図彙』4 <請求記号: 寄別 13-58>)



本の万華鏡

<http://www.ndl.go.jp/kaleido/>

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103 (直通)